県立広島大学

よりよく適応し活動していくために

助産学専攻科
准教授　　藤井 宏子（ふじい ひろこ）

連絡先　県立広島大学　三原キャンパス　4422 号室
Tel　0848-60-1120（代表）

専門分野：　助産学

キーワード：　腸内環境　職業生活への適応

● 現在の研究について

現在，進行している研究課題が 2 つあります。

1 つは腸内環境が女性や胎児の健康にどのような影響を及ぼしているのかについて，医療関係者と連携して検討しています。現在，学会等で報告している研究成果は「冷え性」と腸内環境との関係性です。これまで，痩せた人は冷え性になりやすい，と言われてきました。経験的に納得できる部分もあるのですが，冷え性の理由をエネルギー産生の不調としてとらえ，腸内環境に着目して研究を進めました。その結果，体脂肪が少ない人は確かに冷え性になりやすいのですが，腸内環境が良い人は冷え性が緩和されることが明らかになりました。

もう 1 つは職業生活への適応について，社会科学の研究に従事する研究者と共に検討しています。現在取り組んでいる研究課題は「パワーハラスメント」「職場不作法」の経験と認知についてです。パワーハラスメントはあってはならない職場の問題であることはご存知の通りです。一方，パワーハラスメントではないのに「パワーハラスメントだ！」と言われる可能性を抱えて仕事をするのも苦痛を伴います。分析の結果，職場内のやり取りで発せられる言動を適切に感知する能力，また感知させる能力が必要であることがわかっています。また，職場で嫌な思いを経験することもあると思いますが，原因は相手だけではなく，自身の発言の方法にも原因があることが示唆されています。

● 今後進めていきたい研究について

現在進行中の研究を基に様々な研究課題に取り組む必要があります。主に女性や胎児，子どもの健康に利益がある研究を進めたいと思います。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

助産師として，地域・社会に貢献していきたいと思います。助産師という職能を持った女性が地域や社会で活躍できる場を創出し，今より気軽に助産師のサービスを利用できる仕組みづくりに取り組んでいきたいと思います。